

NPO やすらぎの郷いの

安心して住み続けられるまちをつくりたい！



飯野町の皆さんこんにちは。日頃より“飯野町若連”の活動に対しましてご協力とご理解をいただきましてありがとうございます。

先日「令和6年度大宮神社例大祭」が執り行われました。第47回子供みこしパレードには6つの団体と飯野小3年生にも参加していただきました。多くの子供たちに参加してもらいたい!!という想いで、若連が3年生の授業で太鼓を教えに行っています。また二日目には、いの認定こども園さくら組の方たちと太鼓台の引き廻しを行ったり、伝統のお宮入りでは6年生による樽みこしで盛り上げていただきました。

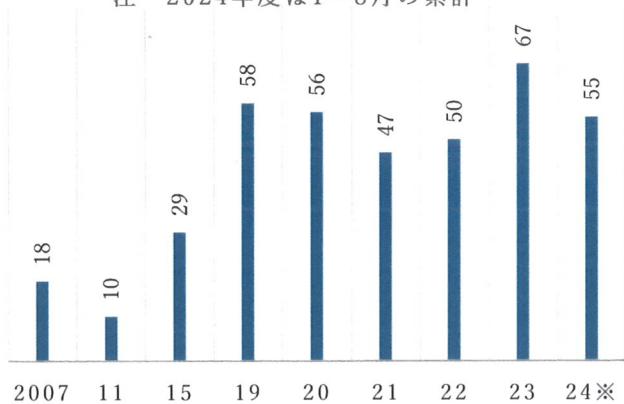
こうして二日間子供たちと町民のみなさん、そして飯野町若連の「ワッショイ!!」と言う声が町内に響き渡りました。今後も伝統の大宮神社例大祭を次世代につないでいきますのでよろしくお願いいたします。そして、この子供たちが私たち若連と同じ「浴衣、タツケ」を着る日を楽しみにしております。

飯野町若連 総裁 林 淳

訪問介護事業所 倒産の急増!

訪問介護(ヘルパー)事業所の
年度別倒産件数の推移

注 2024年度は1~8月の累計



原因としては、賃金の
の引上げと人材不足に
加え、物価高騰が挙げ
られています。

訪問介護(ヘルパー)事業所の倒産件数は、2019年度以降全国で50件前後で推移していましたが、'23年度は67件に急増しています。

更に'24年度1~8月は55件※となっており、'23年度を大きく上回るペースで発生しています。

また、'24年度の介護報酬改定において、訪問介護報酬が引き下げられたことが、倒産件数の増加に拍車をかけているとみられています。

当法人も、国に対する介護報酬引下げ取消等の要請書提出に参加しています。



みんなの広場



感謝しつつ少し昔話



〈利用者 渡部 八重子さん〉

視察研修をする時、いろんなデータを読み決定します。1992年にチェコスロバキア、ハンガリーを視察先に望んだのも、その国々が福祉に富んでいるという統計故だったと思います。

佐藤栄佐久知事になり、福島県

でも女性の地位向上に力を入れ始めた頃、「女性海外派遣事業」が行われました。故太田緑子さん（郡山太田病院理事長）が立ち上げた国際婦人教育連盟で、毎年各県から選抜された研修団をつくりました。これに応募し、全国から33人で訪欧しました。

あこがれのヨーロッパでしたが、ソ連に組み込まれ、やっと独立して2年。福祉も画一的に修道院などを強制的に老人ホームにしたような所。作られた数字上の福祉という印象でした。

それから5年後またプラハ空港に降り立ち、その変わりように驚きました。ハプスブルク帝国が築いた文化、キリスト教が土台の福祉。感動の連続でした。その後、ポーランド、ドイツ、スウェーデンにも行きました。ドイツの介護保険制度が始まって3年目。赤字で苦しんでいたある市の部長さんの顔が思い出されます。

その頃の私は福祉を提供する側の立ち位置でしたが、よもや私が「やすらぎの郷いいの」の手厚いサービスを受ける身になろうとは思ってもありませんでした。今はサービスを受けて温かい職員の方々に接することができ幸せです。

キリスト教の博愛主義が根底にある欧州と日本では違います。役所的、上目線、これが「やすらぎの郷いいの」の皆様にはなく、心から感謝申し上げます。



柿の実で思う



私の家には、先祖が植え育てた柿の木があります。毎年寒い風が吹く頃、柿の実を収穫し干柿を作りました。この季節になると柿がなっているものでした。今年の柿は全部落ちてしまいました。一昨年はたくさん変形してしまいました。今までこんなことはなかったと思います。

年々強まる暑くなる気候に柿の木が耐えられなくなったのだろうと思われます。毎日報道されている気候変動は、身近なものになってきているのだと思います。原因は人間が出す二酸化炭素だとわかっていても、人間の欲望は限りなく、地球温暖化を止めることはむずかしいのだと思います。これ以上の異常気象が進まず、子や孫の時代でも干柿の作れる普通の暮らしができることを願うばかりです。

今年体調を崩してしまいました。「やすらぎの郷いいの」のケアマネさんにお世話になりました。皆様の努力に感謝申し上げます。



地域おこしのアイデアは・・・

飯野町に住んで早や二年が過ぎました。町の皆さまには、地域おこしの活動を通じて様々なご支援とご協力を頂き、楽しく活動させていただいております。飯野町の皆様に感謝！

閑話休題。私は家族を大阪に残して飯野町に単身赴任しております。数か月に一度の帰阪、今回はその話です。私は長距離ドライブが好きで、常は高速道路を使います。10時間超えの運転は疲れますが、SAでのご当地名物グルメなどを楽しんだり、途中泊で旧友と一献酌み交わしたりと、小旅行を兼ねております。先日の帰阪は、爽やかな秋晴れの中、快適なドライブを楽しみました。

そのような楽しみとは別に、「二拠点生活」は仕事上も重要な意味を持っています。移動することによって、それぞれの魅力に改



講演者の 宗 茂さんと

めて気づきます。大阪と福島、単身と家庭、前職と現職・・・。行き来するたびに、それぞれの魅力が深まり、それが現在の仕事にも生かされているように思います。そしてそれは、私の大切な「ルーティーン」です。さて、次のドライブは年末かな？次はどんな気づきがあるか、楽しみです!!

<飯野地区 地域おこし協力隊
近野 哲さん>



会員・賛助会員 ボランティア募集



NPO やすらぎの郷いの

福島市飯野町字前川16

TEL 024-563-4804

ホームページ <http://yasuraginosatoiino.jp/>

一口一言

いつも買っている米農家から、今年も新米ができたのでと連絡があった。毎年おいしい米を安く分けていただく。今年は高温と多雨が続いたので、米の収穫量が減った。その農家さん、「収穫時にはイナゴがたくさん飛び回るが、今年は数匹だけだ。トンボも少ないし。気候変動の影響かなあ・・・」 (K)